

## 入選

### ドキドキワクワク

静岡県 青葉台小学校 2年 沖島 美櫻

「ヘアドネーション」とは、びょう気やじこなどでかみをなくした子どものために、きふされたかみのけでウィッグ（かつら）をむりょうでつくってあげることです。

わたしは、生まれてからすこしかかみのけをきったことはありませんでした。りゆうは、七五三のおいおいをじぶんのかみのけだけでむすべるようにと、お母さんと考えていたからです。二年生になって、おいおいもおわったので、かみのけをきることにしました。きる前におかあさんが、

「かみのけをきふしようか。」

と言いました。それが「ヘアドネーション」でした。

おかあさんが、きふをしてくれるびよう室をさがして、よやくをしてくれました。かみのけを少しづつのたばにしぼって、いよいよカットです。きふをする長さは30センチメートルいじょうひつようです。びようしさんが、じょうぎをつかってカットしました。ずっと長かったのですこしさみしくかんじました。するとびようしさんが、

「だいじなかみのけをきふしてくれて、ありがとう。たいせつにおくって、こまっている子どものためにつかわせてもらうね。」

と言ってくれました。さびしくかんじたけれど、いいことをしているんだとわかるとなんだかうれしくなりました。

かえりの車の中で、お母さんのお兄ちゃんが、むかしびょう気のちりょうのおくすりで、かみのけがぜんぶなくなっちゃったおはなしをしてくれました。お兄ちゃんは大人だったけれど、はずかしくてずっとぼうしをかぶっていたそうです。お母さんが、

「かつらは、とてもたかいものでお兄ちゃんにかってあげられなかったよ。でも、<sup>みお</sup>美櫻のかみのけはそういうこまっている子どものやくに立てるよ。とっでもしあわせな気持ちになるでしょ。」

と言いました。わたしは、きってすてるはずだったかみのけが、やくに立つことができるなんてすごいなと思いました。

きふして一ヶ月あとに、おれいのはがきがとどきました。わたしのかみのけは、どこのどんな子のやくに立っているのかなと考えると、小さなしんせつは、あいてによるこんでもらえてうれしいし、じぶんもドキドキワクワクできることがわかりました。

小さなしんせつ、つぎは、何ができるかな。